

ソフトウェア デファインド ビークル(SDV)における リスク管理

行き届いた検出力で安心・安全を確保

APIとセキュリティリスクの完全な可視化

SDVの設計から実走行まで、すべてをひとつのプラットフォームで実現



継続的な検出

(ソフトウェアとAPIの脆弱性を特定)

自動車脆弱性・SBOM管理システム
VicOne-xZETA

42Crunch-API Audit

ランタイム プロテクション

(脅威の検知と対応)

VicOne-xCarbon IDS/IPS

VicOne-Smart Cockpit Protection

42Crunch-API Protect

リスク評価

(VicOneはトレンドマイクロ社の30年以上の脅威インテリジェンスと
ゼロデイ脆弱性についての専門知識によって支えられています)

次世代VSOCプラットフォーム VicOne-xNexus

脅威インテリジェンスによるリスク管理

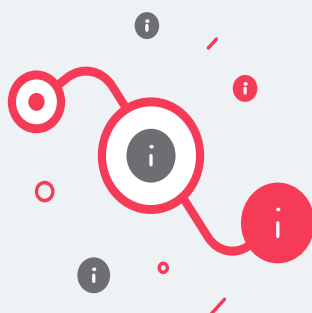
- **シフトレフト(セキュリティ対策やテストの前倒し)**
42CrunchのAPI Audit脆弱性テストソリューションは、APIの設定ミスや脆弱性を検出し、ソフトウェアの開発段階から最新OWASPトップ10のAPIセキュリティ脆弱性などを排除します。
- **継続的なソフトウェア脆弱性の特定**
VicOneのxZETAにより、SBOMの生成を自動化し、継続的な脅威検知を強化します。バイナリやファームウェア内のマルウェア、ランサムウェアとともに、ゼロデイ脆弱性、未公開脆弱性、既知の脆弱性も発見します。
- **ダイナミック ランタイム プロテクション**
42CrunchのAPI ProtectとVicOneのxCarbonおよびSmart Cockpit Protectionで、悪意のあるCANメッセージ、DoS攻撃、異常なAPIトランザクションなどの異常を特定します。
- **リスクを統合的に可視化**
VicOneのxNexusで、クラウドから車両、クラウドからクラウド、API、車両からサービスアプリまで、全領域の可視化を実現することにより資産とリスクインテリジェンスをシームレスに統合し、システム全体の影響を包括的に把握します。

主な導入メリット



卓越した 脅威インテリジェンス

VicOneの脅威インテリジェンスは、IT・OT・IoT・自動車についての広範にわたる領域の知見を有しており、お客様のリスクを迅速に特定し、軽減することが可能です。



コンテキスト化された リスクの可視化

エコシステム全体のセキュリティイベントとデータを相関させることで、コンテキスト化された実用的な脅威に関する洞察を得ることができます。



正確な脅威検知

ソフトウェア実行時に潜在的な脅威を正確に特定することにより、誤検知を追いかける不要な作業を削減します。

